

町長連合会だより



唐沢山…藤原秀郷公の居城趾で、深い歴史を持つ山

令和3年3月1日

第24号

発行 佐野市町長連合会
編集 会報編集部会

激変した日々の公民館運営



「ワイワイと騒ぐ大きな声」・「大きな笑い声」が公民館から消えてしまいました。昨年の3月からの新型コロナウイルスによる外出自粛の影響です。それまでにぎわっていた公民館から灯りが消えてしましました。

公民館を運営する側として、どうしたら公民館が再開できるのか、厚生労働省などからの情報を収集し、公民館での感染予防対策を進めております。

それと同時に「日常生活の変化」を理解し、状況が変化する度に回観文章を作成し、町会内にて情報の共有化を図りました。

公民館利用予定者には、毎日の体温測定表を配布、体調管理表を作成してもらいながら公民館を利用していくいただいております。

ハード面における対応として公民館入口に「センサー付きアルコール消毒器・マスク」を設置、「非接触型体温計」で利用者の体温測定、「名簿・体調管理確認表」の記入、館内テープルの前・左右にスクリーンを設置することで飛沫拡散防止対策、空気清浄機・扇風機・加湿器の設置。フェイスシールド・使い捨て手袋・紙コップも常備、前日に触

若松町（城東）町会
町長 厚木 健志

れる所はすべてアルコール消毒を行っています。

ソフト面においての対応では「フレイル・認知症予防」について「行動制限」を考えながら「大きな声」を

出さないように注意し、参加者が楽しんでいただけるように頭を悩ませながら進めてあります。

利用者側も様々な参加条件があり、運営側としては、感染対策に大変気を使うという難しい状況での公民館運営を要求されています。

公民館の灯りが消えたままならないよう、楽しい憩いの場になるよう常に対応対策を検討し、変化しながら進めていく若松町（城東）町会の公民館運営です。



町長連合会
新型コロナウイルス
感染症対策事業

として、7月に町長連合会より全町会に、手指消毒用の消毒液が約160世帯に1本ずつ配布されました。



新型コロナウイルス感染症の拡大により、私達をとりまく環境は、従来の経験では乗り切れないほどの急激な変化を求められております。

町会長の皆様は、市が市民向けに発信した「感染症拡大防止対策」を基に感染防止に努めております。そのような中、連合会では「市から特別交付金」の支援を頂き「地域情報活動事業用」として手指消毒用アルコールジェル1㍑540本を各町会に頒布し感染防止に努めています。更に、各町会が実施している防災などの取り組みや、コロナ感染防止対策事業に対し、再度「市から全町会に補助金」を交付していただきなど多大な支援があり市民の安全確保が図られております。

一昨年10月台風第19号による未曾有の水害により甚大な被害を受け、その恐ろしさを身をもって痛感し、未だに脳裏に焼き付いております。被災地復旧に多くのボランティ

一年を振り返つて

佐野市町会長連合会 上岡良雄会長談

アを募り、ご尽力された町会長の皆様をはじめ多くの皆様に心よりお礼申し上げます。

連合会における

町会長の皆様は、市が市民向けに発信した「感染症拡大防止対策」を基に感染防止に努めています。そのような中、連合会では「市から特別交付金」の支援を頂き「地域情報活動事業用」として手指消毒用アルコールジェル1ℓ×540本を各町会に頒布し感染防止に努めています。

連合会における事業の執行状況についてでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部書面による対応とさせて頂きました。しかし、各町会では、日頃から住みよい生活環境づくりや、住民福祉の向上、行政とのパイプ役、町会長間の相互連絡など町会長の皆様のご努力により本來の機能は執行できたものと思つております。

結びに、町会運営については、地域住民を基本にとらえ、直面する課題を住民共同の知恵で「助け合い・支え合い」により解決することが重要であると思っております。今後とも難しい町会運営を強いられますが、町会長の皆様におかれましては、経験を通して培つたノウハウを基礎として精進されるとともに、健康にご留意され、ご活躍されますことを心より祈念申し上げます。



住民は参
加いただき、最終種目
「たぬま音頭」まで全員で踊り
できました。

を8月に設立し、3世代交流を主体とした「地区レクリエーション大会」を10月25日（日）に開催することを決議しました。

開催までには行政との交渉、開催資金の捻出、コロナ対策等課題も数多くありました。しかし、当日は約

市内で初めての大規模災害を受けて、葛生地区防災計画を作成することにより、今後なお一層地域の防災力向上を図り、改めて自分の命は自分で守る意識と防災を通じたコミュニケーション作りを進めたいと思います。

台風19号の影響により、小曾戸川や荒久川の越水による浸水被害が発生しました。また、山地では、複数箇所で土砂災害が発生するなど、今まで経験したことのない大規模な災害が多数発生しました。

葛生地区防災計画作成員会

代表 小野 猛

地域の日、レク大会

葛生地区防災計画作成員会

葛生地区防災計画作成員会

代表 小野 猛



葛生地区災害想定危険箇所

米山南町会 緑の環境プラン大賞受賞

この度米山南町会は、令和2年度都市緑化機構等が主催する「緑の環境プラン大賞」ボケットガーデン部門で「ミニユニアティ大賞」を受賞しました。

緑の環境プラン大賞は、「国際花と緑の博覧会」の理念を踏まえコミュニケーションを表彰し、実現に向けた助成を行つもので、町会役員、公園利用者らが一体となり行つて花づくり



米山南町会
町長 小早川房平

プランが評価されたものと考えております。今年度の活動助成金として100万円をいただき、それを活用して1年中花のある公園にして地域を明るくしていきます。

本町会は、米山公園で「花いっぱい活動」を12年前から行つています。

公園は、町会の中央に位置しぐ

ラウンドと遊具広場があり、幼児から高齢者まで多くの利用者で賑わっています。公園の「花いっぱい活動」は、「地域の人がここに住んで良かった」というまちづくりを目指して四季折々の花を楽しめる公園づくりとして始めました。

今では、児童を遊ばせるお母さん、近隣の乳児院、保育園、小学校、グランドゴルフやウォーキングを楽しむ方々、多くの人に花のある公園として楽しめています。



意見交換会には、学園側から理事長及び学園長をはじめとした8名の方々が出席され、町会側からは、町会長及び役員の方々8名が出席しました。「学園に対するイメージ」、「学園に対してもうること」、「学園と地元との連携について」をテーマに意見交換を行いました。特に連携については、学校行事や部活動の地元町会への周知、ボランティア活動の協力についての意見が出されました。

今後、佐野日本大学学園、石塚3町会ともに、より一層の連携を深めていくことが約束されました。

令和2年10月29日（木）に佐野日本大学学園と、その地元町会である石塚（下町、上町、緑町）3町会との意見交換会が同学園において開催されました。

佐野日本大学学園と石塚町会による意見交換会を開催

女性の 地域活動推進セミナー 米山町会 町長 関根喜美子

私は7月から1月まで宇都宮市で開催された地域づくりに積極的に関わる女性を対象とした地域活動推進セミナー（8回）に参加しました。セミナーの最後に行われた研究発表では、コロナ禍で敬老式典が中止となり、大伏地区女性会が高齢者に笑顔を届けるためタオルでひよこを作った活動、毎年行っている12月の寄せ植会、ボランティア協会で実施した田村耕一美術館（閑馬町）の研修、3点の発表を行いました。また発表にあたり、オレンジカフェ（田沼町）、若松町（城東）町会の皆様にアンケートにご協力いただきました。

今回のセミナーを通して、勇気をいただきながら、町長、女性会会長、ボランティア協会副会長という立場を通して地域の活動を推進することができます。ご協力いただきました各団体の皆様に感謝申し上げます。来年もセミナーは開催予定ですのでご参加してみてはいかがでしょうか。



後漢書

長年にわたって町会活動に貢献された方が、佐野市町会長連合会表彰、栃木県自治会活動功労者知事表彰、栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰をそれぞれ受賞しました。

(敬称略)

◆佐野市町会長連合会表彰

【永年在職町会長10年表彰】

岩鶴 崎見 純一 榮一 大町 高砂町

高関 島根 口治 靜千代 実思 作夫 一義 吉吉

山川 田野 時文 千代 和作 夫一 義吉 之雄

慶賀 藤暮 忠和 一義 吉吉 之雄 男

斎藤 田暮 政忠 吉吉 之雄 男

小田 澤田 昭雄

割田 関男

湯澤 昭男

小

閔根喜美子　米山町
下川義正　上町西
小林晋　金屋下町
武藤純子　植野町(泉)
新里登　堀米町(安良町上)
芝宮民之　赤見町(大門)
【永年在職町会長5年表彰】



中山文雄
関川町



◆栃木県自治会連合会自治振興

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-----|------|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|------|-----|----|
| 小早川房平 | 幸庄治一 | 柴崎幸 | 飯嶽 | 上野 | 荒川 | 島田 | 津久 | 石岡 | 末吉 | 吉澤 | 尾花 | 坂 | 赤坂 | 在田 | 安田 | 岩鹽 | 本郷 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 米山南町 | 上町西 | 下町 | 田之入町 | 奈良湊町 | 黒袴町 | 富岡町 | (東部) | 町谷町 | 町谷町 | 米山町 | 若宮下町 | 若宮上町 | 植上町 | 植野町 | (台南) | 植野町 | |

町会へ加入しましょう！

防災の柱は、自分で自分の身を守る「自助」、地域でお互いに助け合う「共助」、消防、警察、市などの公的機関が支援する「公助」の3つといわれています。

平成7年の阪神・淡路大震災において一番多くの命を救助したのは、地域の住民による「共助」でした。この「共助」による力が發揮されるのが町会です。

日頃から地域の人たちとコミュニケーションを取り、地域防災力の向上と安全・安心な暮らしのため、町会へ加入しましょう。



町会は地域において様々な活動を担っています！

●安全・安心な暮らしを守る活動

自主防犯パトロール、自主防災組織、防犯灯の維持管理、交通安全活動など

● 親睦活動

お祭りの開催や、子ども会、敬老会への協力など

●地域環境美化活動

清掃活動、ごみ集積所の維持管理など

● 地域情報活動

回覧板や広報の配布による地域の情報伝達など

◆ からこれまで第2号はいたた
編集部会では、皆様からの感想やご意
見をお待ちしております。掲載しても
らいたい内容や皆様の町会での活動状
況などありましたらお寄せ願います。

◆昨年2月より新型コロナウイルス感染拡大により世界中が不安に包まれております。様々な行事が中止や延期になり、近隣の友人ととの日頃の楽しみもなくなってしまい、我々の日常生活も別世界のような錯覚さえ覚えます。1日も早く元の生活に戻れるように願つばかりです。

◆各種表彰を受賞された町会長、町会役員の皆様、おめでとうございます。日頃の諸活動のご尽力に対し、心より敬意を表します。今後とも更なるご活躍をお祈りいたします。

〒329-1850
栃木県佐野市高砂町1番地
佐野市役所 6階
☎ 0283-20-3812
発行責任者
編集部会長
編集部会員
アドバイザー
▼佐野市町会長連合会は全域167町会で組織
されています。

編集後記